

平成25年度農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞者について

平成25年度農山漁村女性・シニア活動表彰の受賞個人・団体が決定しましたので、お知らせします。なお、表彰式は、各部門とも『第27回農山漁村女性の日記念の集い』の中で行われます。

〈平成25年度農山漁村女性・シニア活動表彰〉

1. 目的

農山漁村における女性や高齢者といった地域の多様な人材は、農山漁村を支え、農山漁村生活の充実と地域経済の活性化に重要な役割を果たしており、農山漁村の6次産業化、食の安全・安心の観点からも、これらの活動が活発になるように支援していく必要がある。

このため、農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人又は団体を表彰することにより、女性や高齢者といった地域の多様な人材が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりの推進に資するものとする。

2. 受賞個人・団体

最優秀賞

(農林水産大臣賞)

A. 女性地域社会参画部門

- ・岩手県 遠野市 菊池 ナヨ
- ・兵庫県 たつの市 黒田 恵美

B. 女性起業・経営参画部門

- ・福井県 小浜市 あばん亭
- ・福岡県 大木町 株式会社 ビストロくるるん

C. シニア起業・地域活性化部門

- ・香川県 小豆島町 中村 佳子
- ・長崎県 雲仙市 有限会社四季 (ふれあいタイム四季)

優秀賞

(経営局長賞)

A. 女性地域社会参画部門

- ・群馬県 前橋市 樺澤 壽美子
- ・埼玉県 さいたま市 新藤 みち子
- ・愛媛県 今治市 西部 知香

B. 女性起業・経営参画部門

- ・宮城県 加美町 加藤 重子
- ・埼玉県 越谷市 渋谷 輝子
- ・鹿児島県 鹿児島市 有限会社 さくらじま旬彩館

C. シニア起業・地域活性化部門

- ・青森県 黒石市 ひょうたん倶楽部
- ・富山県 氷見市 特産氷見稻積梅生産組合
- ・岡山県 美作市 勝田ひまわり会

(林野庁長官賞) 該当なし

(水産庁長官賞)

・石川県 金沢市 平野 世紀子 (A. 女性地域社会参画部門)

優良賞

(全国漁業協同組合連合会長賞)

・大分県 姫島村 漁村女性起業化グループ「かなんど工房」
(B. 女性起業・経営参画部門)

(全国農業協同組合中央会長賞)

・岡山県 岡山市 岡山市農業協同組合建部ピーマン部会
(C. シニア起業・地域活性化部門)

(全国森林組合連合会長賞) 該当なし

【表彰式等（農山漁村女性・シニア活動表彰）】

日時 平成26年3月6日（木）（第27回農山漁村女性の日記念の集いのプログラムの中で）

表彰式 10:30～11:10

（*農山漁村男女共同参画優良活動表彰の表彰式を同時に実施予定）

活動報告（農山漁村男女共同参画優良活動表彰） 11:20～12:00

活動報告（農山漁村女性・シニア活動表彰） 13:20～14:20

場所 台東区立浅草公会堂（東京都台東区浅草 1-38-6 電話：03-3844-7491）

主催 農山漁村男女共同参画推進協議会

後援 （農山漁村女性・シニア活動表彰）

農林水産省、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、全国農業協同組合中央会

協力 全国酪農青年女性会議

問い合わせ先

農山漁村男女共同参画推進協議会

事務局

（一社）農山漁村女性・生活活動支援協会内
東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 4階

担当：森、石井

電話：03-5777-5383

平成25年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞者一覧

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
最優秀賞	最優秀賞(農林水産大臣賞)	A	岩手県 遠野市	菊池 ナヨ	平成10年に農家レストラン「夢咲き茶屋」を開店。郷土食中心のメニューを提供し、地域の食文化を発信するとともに農村女性の雇用の場となっている。平成24年には2号店「結和」を開店させ、農村女性が主体のコミュニティビジネスとして順調な発展を遂げている。小中学校の児童・生徒を対象に郷土料理講習会を開催、昔の食文化や知恵を伝える「あやおり食暦」を中学校の生徒と共同で作成するなど食育と伝承活動に取り組んでいる。
	最優秀賞(農林水産大臣賞)	A	兵庫県 たつの市	黒田 恵美	黒崎梅林組合の婦人部長としてリーダーシップを発揮し、観梅事業、梅料理、梅加工品等の開発を主導して「綾部山梅林」が有数の観光農園として発展することに貢献。また、兵庫県女性農漁業士の初代会長として女性の地位向上を訴え、町社会福祉協議会理事等を歴任。平成20年には市として初の女性農業委員となり、農業者年金加入推進などに積極的に取り組み、現在2期目の農業委員として活動している。
	最優秀賞(農林水産大臣賞)	B	福井県 小浜市	あばん亭	地域の古民家を活用して平成20年に地元の食材を使った宅配弁当の店を開業。さらに平成23年には農家レストランを開業した。原材料は地元のコシヒカリ、野菜を基本とし、海産物も活用している。人材面では地域の余剰労働力として主婦等を採用して無理のない運営体制を構築。完全予約制にして人件費・材料費のロスを削減し、事業拡大に繋がっている。地元食材の消費拡大による地域活性化、雇用創出に貢献している。
	最優秀賞(農林水産大臣賞)	B	福岡県 大木町	株式会社 ビストロくるん	平成22年道の駅オープンに伴うレストラン運営への応募をきっかけにスタート。地元産食材にこだわるとともに、親子対象の弁当づくり教室の開催など食と農の架け橋となっている。女性3人が共同でレストランを運営するとともに、地元や近隣市町から女性13名を雇用し、地域への貢献も高い。開業以来、多数のリピーターが訪れるなど、消費者に食と農の大切さを発信する地域の交流拠点となっている。
	最優秀賞(農林水産大臣賞)	C	香川県 小豆島町	中村 佳子	婦人会会長や農協女性部長を長年務め、男女共同参画推進員としても啓発活動を行う。農協女性部長の時に直売市を中心となって立ち上げ、さらに町内の先進的な事例である女性起業組織「安田レディースあわじ会」を設立して味噌作りに取り組んでいる。これまでに習得した経験や技術を地域活動に活かして、活動の効果をあげている。平成25年度「香川県むらの技能伝承士」に登録。
	最優秀賞(農林水産大臣賞)	C	長崎県 雲仙市	有限会社四季(ふれあい タイム四季)	吾妻農産加工組合の女性部長を引退後、仲間呼びかけて有限会社を発足させる。自己資金、自己責任で加工・直売所運営を行い、構成員の年間賃金を他産業並に算出。直売所の中に総菜・菓子部門を併設して加工品生産・販売も行う。直売所は市内の農漁家であればどこからでも受け入れて地域活性化に寄与するとともに、地元農漁家の副収入確保に寄与。地域の憩いの場としても定着している。

優秀賞	優秀賞(経営局長賞)	A	群馬県 前橋市	榊澤 壽美子	昭和45年に農業後継者として就農。結婚後は夫とともに酪農経営を営み、経営改善や牛群改良に努め、経営の付加価値化に取り組んできた。長男の就農を機に協定を締結し、地域を代表するパートナーシップを实践。地域リーダーとしても活躍し、平成15年に県の農村生活アドバイザーに認定、「前橋広域農村女性会議」の設立に尽力、平成23年から24年まで同会会長に就任し、6つの女性組織をまとめている。高校生や消費者を対象に地域の食文化の伝承活動にも取り組んでいる。
	優秀賞(経営局長賞)	A	埼玉県 さいたま市	新藤 みち子	昭和50年代から農家女性が抱える課題に問題意識を持ち、農業経営への女性の位置づけを明確にした。地域の女性農業者と共に「浦和婦人農業青年会議所」を設立、地域、行政課題の改善に向けて取り組んでいる。農業経営においても体験型市民農園・加工体験等の新たな収益部門を立ち上げるとともに、市農業委員、埼玉県農業研究団体連合会幹事(元会長)として農村の男女共同参画の実現に向けた郷土料理教室や農業体験塾などを通じて、地域住民の交流の場の提供に取り組んでいる。
	優秀賞(経営局長賞)	A	愛媛県 今治市	西部 知香	認定農業者として柑橘と花の経営に取り組む。生活改善グループ活動を原点として、「しまなみグリーン・ツーリズム活動」へ参画、同推進協議会会長に就任して、修学旅行の受入を開始して地域の振興に貢献。また、道の駅内に開設した農家レストラン、農家民宿の営業活動は地域の情報発信や地域おこしに貢献。平成20年県の農業指導士に認定され、後継者の育成やグリーンツーリズムに指導的役割を果たしている。
	優秀賞(経営局長賞)	B	宮城県 加美町	加藤 重子	平成6年農産物直売所「やくらい土産センター」開設にあたっては中心的役割を果たし、平成5年から14年までやくらい土産センターさんちゃん会理事・会長を歴任し、法人化の土台を作り、現在は農事組合法人代表理事組合長を努めている。事業運営にあたっては200名を超える組合員をまとめあげている。平成13年から農家民宿「花袋・天王」を開業。県指導農業者をはじめとする各種役職を務め、食育、地域づくり、人材育成にも取り組んでいる。
	優秀賞(経営局長賞)	B	埼玉県 越谷市	渋谷 輝子	JA女性部部长として農産加工研修等を実施して加工施設の導入を検討後、個人で加工施設を設置して加工・販売を開始。「ふるさとの味伝承士」として地元農産物を活用した加工品を提供、市の広報誌にレシピを提供するなどの活動も行う。親子3代で加工に取り組む今後も経営展開が期待できる。農業研修生も多く受け入れ、就農促進にも貢献している。
	優秀賞(経営局長賞)	B	鹿児島県 鹿児島市	有限会社 さくらじま旬彩館	昭和55年桜島の降灰により市場に出荷できない農産物を活用した加工品づくりに取り組み、加工活動をスタート。さらに農産加工づくりと地域の農産物を使ったレストラン経営を開始し、平成16年に法人化。桜島の農産物にこだわった加工品の製造・販売、若い女性を積極的に雇用して世代交代がスムーズに進んでおり、地域農業の維持、食文化の伝承に取り組んでいる。
	優秀賞(経営局長賞)	C	青森県 黒石市	ひょうたん倶楽部	黒石市生活改善グループ連絡協議会の事業として「飾りひょうたん」という工芸品の制作にグループで取り組み、趣味として制作していた技術を芸術的にレベルアップさせた。研修会に津軽塗りの講師を招いて専門的な技法を身につけるなど研鑽を積む。平成21年に「ひょうたん倶楽部」を結成して本格的に起業活動を始め、地域の高齢者に良い刺激を与え、女性起業化の手本ともなっている。
	優秀賞(経営局長賞)	C	富山県 氷見市	特産氷見稲積梅生産組合	梅生産者の高齢化の進展等により生産が減退し、生産継続が危惧されていた梅「稲積梅」の生産の持続性を高めるために、地区の有志で設立し、県内最大の梅産地に育成。組合員17名中、11名がエコファーマー。稲積梅を植栽して「梅ロード」を築き景観向上にも取り組む。平成22年からは「梅まつり」を開催して県内外に広くPRしている。県立高校や県内企業とも連携を進める。

優秀賞	優秀賞(経営局長賞)	C	岡山県 美作市	勝田ひまわり会	37年にわたり地域資源を活用したグループ活動を継続し、中山間地における高齢女性の雇用の場を創出している。平成20年には会員出資で加工施設を整備し、巻き寿司、おこわ、鯖寿司、佃煮など、地域産品を活かした地産地消を展開している。市内の道の駅や大阪府箕面市の直売所などへほぼ毎日出荷し、販売実績をあげている。この加工活動により農家の生産意欲向上と農業振興の一翼を担っている。
	林野庁長官賞	該当なし			
	水産庁長官賞	A	石川県 金沢市	平野 世紀子	漁協女性部の設立当時のメンバーで魚食普及活動に取り組んできた。魚食活動では水産業の現状や魚食の重要性を、浜のかあちゃんならではの視点でわかりやすく伝えている。地区農林漁業女性連絡会のメンバーとして「海の子交流会」運営の中心的役割を担い、伝統や食文化の伝承に努めた。漁協女性の副部長、石川県海面利用協議会委員を務めるなどリーダーシップを発揮している。
優良賞	全国森林組合連合会会長賞	該当なし			
	全国漁業協同組合連合会会長賞	B	大分県 姫島村	漁村女性起業化グループ 「かなんど工房」	姫島の郷土料理をアレンジして、安価なため投棄されることもあったカナガシラを使った「姫島名物さかな味噌」を開発。加工品コンクールで優秀賞を受賞するなど定着している。平成24年には他の加工品を含めると1,000万円超の総売り上げとなった。「カナガシラ」を有効利用することで漁獲量の5割以上をかなんど工房が買い取っている。新商品の開発にも積極的に取り組み、農村の加工グループとの連携も行っている。
	全国農業協同組合中央会会長賞	C	岡山県 岡山市	岡山市農業協同組建 部ピーマン部会	地域の退職者11人で結成してピーマン栽培に取り組み、生産者数及び栽培面積を拡大。積極的な新技術の導入や地区対抗での生産振興など、企業の経営手法を効果的に部会運営に取り入れ、産地の振興が図られている。定年退職者の就労の場の提供や女性の社会参画推進に貢献。出荷体制整備や情報発信などにより、地元産としてブランド化している。平成24年度には部会会員全員でGAPを導入。